



渋川



3月

渋川学区のシンボルマークとマスコットキャラクター“しぶはなちゃん”

編集発行 渋川学区まちづくり協議会
(事務局：草津市立渋川まちづくりセンター内)
☎525-0025 草津市西渋川二丁目9番38号
☎077-569-0350 FAX 077-566-5143
メールアドレス shibukawa@machikyou.jp
ウェブサイト http://www.machikyou.jp/shibukawa/



渋川学区(2024年1月31日現在)
人口 9,624人
男性 4,805人 女性 4,819人
世帯数 4,565世帯

まちづくり協議会より 渋川学区の将来像 ～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～



お天気の勉強をしたよ！

昨年12月2日(土)と1月13日(土)に、小学生を対象に『お天気の不思議』を開催しました。31人の子どもと保護者20人総勢51人参加がありました。社団法人日本気象予報士会関西支部の講師6人をお招きして、気象観測や天気予報のしくみ、雨量の測り方、天気図(高気圧・低気圧・前線)の見方、雲のでき方、種類(十種雲形)などについてパワーポイント、スライド動画を見ながら学びました。実験では、ペットボトルと炭酸キーパーで雲をつくり雲のできるしくみを学びました。学んだことを応用して天気図を見ながら天気予報を班ごとに考え、テレビ番組形式で発表し合いました。

また外に出て雲の色や形、動きなどを見て気に入った雲をスケッチしました。今まで何気なく見ていた天気予報を予想しながら見る事が出来ることと思います。雲の特徴を理解することにより自然現象や気象への興味の入り口となる良い機会でした。《子ども育成部会》



男女共同参画センターで学ぶ

1月20日(土)午後、教育文化スポーツ部会主催で近江八幡市のG-NETしが滋賀県立男女共同参画センターで、「令和5年度人権現地研修」を開催しました。部会員や一般の参加者を合わせて16人が参加しました。まず、G-NETしが滋賀県立男女共同参画センターの事業説明を受けました。女性の起業セミナーや出店塾など女性のチャレンジ支援、就労サポート、フェスタの開催など、多様な活動を推進されていることを知りました。

次に、奈良県からLGBTQ支援団体 Rainbow Create 代表 定政輝(さだまさひかる)さんをお迎えして講演をしていただきました。LGBTQ問題の現状と課題について学びました。LGBTQを知ることで「多様な生き方や多様な性があることを知ってもらいたい。そして、色々な壁があっても自分らしく、あなたらしく、ありのままの夢を描いて欲しい。誰もが自分らしく生きられる社会を実現したい」と体験をもとに熱く語ってくださいました。

《教育文化スポーツ部会》



町内学習懇談会「実践発表のつどい」で渋川南二町内会より発表

昨年7月の市主催町内学習懇談会推進者研修講座(第一講座・第二講座)に始まり、学区で開催した「第三・第四統合講座」を踏まえて、各町内会で開催された『町内学習懇談会』の集大成として、1月22日(月)に「実践発表のつどい」を開催しました。今年度は、15町内会のうち渋川南二町内会から取り組みの内容について発表がありました。「LGBTQについて知ろう」をテーマにした町内学習懇談会の様子をパワーポイントを使って詳しく丁寧に話してくださいました。その後、グループに分かれ意見交換を行いました。自分らしさを大切にする環境づくりのため、自分に何ができるのかを考えるととても有意義なつどいでした。《教育文化スポーツ部会》





～令和5年度をふりかえって

役員以外にも新しいつながりで、地域に「ふれあい」を

地域安全コミュニティ部会では、「住環境美化への取り組み(地域の見守り、河川や散在性ごみ一斉清掃、花いっぱい運動、清掃ボランティア)」と「ふれあいまつり」を担当しています。11月に開催したふれあいまつりでは、子どもから高齢の人まで多くの方がステージ発表や展示作品を見学したり、さまざまな体験を楽しんだりし、キッチンカーで買った焼きたてのピザなどを家族で囲む姿も見られました。また、今年度は新しく人材育成事業として「澁川なんでもやる会」を立ち上げました。この会は役員以外の有志で自分の得意なことを活かして活動する団体で彼らの参画で滋賀レイクス

とのバスケット教室やお菓子作り体験などの事業を行い延べ400人の参加がありました。このように地域貢献に積極的に素晴らしい人材に、より多く関わってもらい地域のつながりを大切にしながらまちづくりについて皆で考え、世代を超えて交流できる取り組みを進めていきたいと思えます。課題となっている担い手不足の解消に向けて今後も人材育成事業を続けて参ります。結びに、一年間ご協力いただいた多くの皆様にご心より感謝申し上げます。

《地域安全コミュニティ部会

部会長 武内優介》



年齢を重ねても健康で楽しく暮らせる澁川学区をめざして



澁川学区の皆さん、日ごろは健康福祉部会活動にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私たち健康福祉部会では、学区内にお住いの皆さんが年齢を重ねても住み慣れた澁川で楽しく健康に暮らし続けられるよう、高齢者等が交流を深めつつ、健康増進につながるような取り組みを進めてきました。

今年度の取り組みは、大きく分けて三つありました。

一つ目は適度な運動にチャレンジするきっかけとなるよう開催したウォーキング教室と体操教室です。10月開催の「澁川歩こう会」では、びわこ文化公園から2025年開催の国スポ障スポの会場となる施設までを往復し県内最大のアリーナを見学しました。12月には以前リクエストが多かった希望が丘文化公園内を歩きました。

また、転倒予防を目的に「転ばない身体へ！」と題してスクワットなど自宅のできる運動を学びました。



二つ目は、身体の健康増進に加えて心が豊かになるよう「はじめての絵手紙」と「秋のミニコンサート」を開催し絵や音楽といった文化にふれる良い機会となりました。県立草津東高等学校吹奏楽部の皆さんの演奏を聴いて多くの方が感動し興奮されていたのが印象的でした。

三つ目は、福祉グッズの貸し出しです。今年度は、高齢者サロンや老人クラブ、学区民生委員児童委員の皆さんなど延べ37団体から借用申請があり、町内会館など身近な場所で楽しみながら活用していただくことができました。最後に、昨年度に募集した「まちづくりサポーター」の皆さんには今年度も各事業でご活躍いただきましたこと、この場を借りて心からお礼申し上げます。まちサポの皆さんとともに来年度も多くの方のご参加をお待ちしております。

この一年間、事業運営にあたり、お世話になりました方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

《健康福祉部会 部会長 中村嘉宏》



各部会長より ご挨拶～



渋川まちづくりセンターの玄関ホールに絵本コーナーを設置

日ごろは、子ども育成部会の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。当部会では、地域の大人と子どもたちがさまざまな体験を通して楽しく交流することや、青少年の健全な育成をめざして取り組んでいます。

私たちは今年度、地域協働合校事業で「じゃがいも収穫体験」と「お天気のおふしぎ」、「花植えじゃがいも植え」を、青少年健全育成事業では、すこやかセミナー「ベジフルブーケを作ろう」を開催してきました。

また、市の地域課題解決応援交付金を申請して乳幼児と保護者を対象に「わくわく渋川親子ひろば」を開催し同時にライブ配信も行ったのち、渋川まちづくりセンターエントランスホールの一角に親子で絵本を楽しんだり保護者同士の友だちづくりの場として活用したりできるよう、多くの絵本を設置して「しゅぼはなちゃん広場」として乳幼児と保護者にご利用いただいています。3月には渋川小学校の制服等のリサイクル会を開催する予定です。事業運営にあたっては、副部会長をはじめ部会員の皆さん全員が事業開催日当日に本番の強さを発揮していただき感謝しています。

来年度もまた皆さんと一緒に楽しい事業を開催していきたいと思っておりますので、多くの子どもたちや保護者の皆さんの参加をお待ちしています。

《子ども育成部会 部会長 北川正子》



人権教育、伝統文化の継承、スポーツ大会の開催に取り組む



教育文化スポーツ部会では、教育面においては「人権事業」、文化事業においては「渋川花踊り」と「渋川の歌の普及」、スポーツ事業においては、渋川スポーツ振興会の皆さんの全面的な協力のもと「学区大運動会」および「春季・夏季・秋季スポーツ大会(ソフトボール・ペタンク・ソフトバレーボール)」の開催、これら3つの事業に取り組んでおります。大運動会は、残念ながら今年度は雨天のため中止となりました。次年度の切なる開催が望まれます。

人権においては昨年6月にLGBT理解増進法が施行されました。当部会においても性的少数者に対する人権問題を主要課題として取り上げ学習しました。この学びを踏まえて各町内会で町内学習懇談会が実施され、だれもが住みやすいまちづくりに向けての取り組みが進められました。

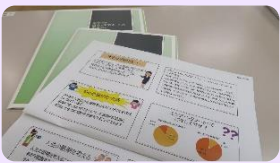
次年度も同様にこれら3分野の事業に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

《教育文化スポーツ部会 部会長 西川泰功》

渋川やすらぎ学級第7回開催

1月10日(水)に、社会医療法人誠光会から講師をお迎えして渋川やすらぎ学級第7回講座「未来ノート～生き方と逝き方を考えよう～」を開催しました。今回の目的は、元気なうちから人生の最期に望む医療やケアについて考え、家族や友人、信頼できる支援者と話し合っただけのためきっかけづくりです。講師は、「意思表示をすることが難しくなった時に本人がどうしたいのかを家族にきちんと伝えるためにも未来ノートに書き留めておくことが大事です」と話されていました。

参加された受講生からは「家族や大切な人と話し合いをしようと思った」「自分の人生の最期を含めどう生きていきたいかを考える機会がもてた」「未来ノートを活用して自分の思いを書いておこうと思った」「未来ノートをいつでも書けるところに置いて家族と共有しておこうと思った」等の感想が寄せられ、人生をどう生きていきたいかを考える良い機会となりました。



来年度 渋川やすらぎ学級 受講生を募集します

渋川まちづくりセンターでは、60歳以上の皆さんに学びの場を提供するとともに、受講生同士の交流を深めることを目的に毎年「渋川やすらぎ学級」を開催しています。来年度も、ニュースポーツの体験などさまざまな講座を予定しています。詳しくは、3月1日号の広報くさつと同時に配布する「渋川やすらぎ学級受講生募集」ちらしをご覧くださいの上、申込書に必要事項を記入し参加費を添えて渋川まちづくりセンターの窓口でお申し込みください。なお、各講座は諸事情により内容を変更したり、やむを得ず中止したりする場合がありますので、何卒ご了承ください。

渋川まちづくりセンター利用者アンケートの結果報告

令和6年1月に、渋川まちづくりセンターの利用者を対象に「利用者アンケート」を実施しましたところ、268人から回答がありました。主な集計結果を報告いたします。**アンケートで「適切」「やや適切」と回答した人の割合**です。ご協力いただき、ありがとうございました。

◎貸館の手続きについては**64.83%**、当センターの備品管理については**71.31%**、各種団体への施設提供や支援については**62.92%**、またセンター内の清掃については**74.90%**、各種講座の開催など学びの場の提供については**62.76%**、学区広報誌やホームページでの情報発信については**82.47%**という結果でした。

(4) また、職員の対応は「適切」と「やや適切」を合わせて**72.31%**でした。

まちづくり研修を開催しました！



2月3日(土)に、「まちづくり研修」で志津南まちづくりセンターに行きました。渋川学区から25人が参加し、基調講演として一般社団法人ユナイテッドグリーン代表理事の山田周生さんをお招きして東日本大震災の復興支援をされている経験から地域で自分に出来ることを活かした仲間づくりの秘訣を教わりました。



その後、お互いの学区の取り組みを発表し交流を深めました。



《地域安全コミュニティ部会》

多様性を認め合う大切さを学ぶ

1月27日(土)に、NPO法人にじろBiwakoの代表で精神保健福祉士の橋本竜二さんをお迎えし、第二回人権講座「LGBTについて」を開催しました。29人の参加があり、講師からは「目の前の人の性別を決めつけず、まずはLGBTのイベント等に参加して理解を深めてほしい」とのことでした。参加者からは「日常生活で何か困っていることはありますか？」など、さまざまな質問があり今まで知らなかったことや気づけなかったことを学びました。多数者が少数者に少しでも寄り添うことで、だれもが住みやすいまちづくりへの取り組みが一歩進みます。

繊細な「押し花アート」に感動！



1月30日(火)から2月1日(木)までの間、渋川まちづくりセンターで「押し花アート展」を開催し、インストラクターの小西まゆみさんらが時間をかけて花びらや葉などを乾燥させ一枚一枚丁寧に重ね制作された作品22点を展示していただき、延べ120人が見学しました。最終日には、講師に教わりながらタツノオトシゴを押し花で作る体験会も行いました。素晴らしい作品にふれる良い機会となりました。

《職員の退職のお知らせ》

1月31日付けで職員小嶋延幸が退職いたしました。短い間でしたが、地域の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

